

## SDGs 達成に向けた取組み

### 電気自動車導入を通して SDGs を考える



#### 目的・背景

SDGs 宣言をするにあたり、エネルギー（燃料費高騰）に関する取組みについて社内の意識統一を図りたいと考え、社員及び社外にも PR するために電気自動車の導入を考えました。社員が電気自動車を利用する機会があれば、電気自動車の性能を実感、またグリーンエネルギーを自分が利用しているという意識を身に付けることにより、益々 SDGs に興味を持って、SDGs に自分も参加しているという自信が持てると思われました。

#### 具体的な取組内容

営業活動をするにあたり、日々の移動手段として車が欠かせず燃料費（ガソリン代）の削減は大きな目標でした。そのためまずは令和6年2月に、営業車に電気自動車を導入しました。市内での営業活動をする際に、特にその日に移動が多そうな社員が電気自動車を利用するというルールで従業員が日替わりで電気自動車を利用してみました。最初は電気自動車の性能に疑問を持っていた社員も、何度も利用するうちに1日乗っていてもガソリン車と遜色ない、いやそれ以上の性能に大変満足そうでした。仕事終わりに充電をして帰るだけでよいので、途中でガソリンを入れる手間が省けるのも助かると言っていました。また災害時給電設備として活用できるため、台風や地震などの災害時に停電が発生した場合には社員や周辺の避難者の非常用電源として活用することができることから、どのように、またどこだけ給電設備として使えるのかも実際試してみることができました。このような経験をするにより、災害におけるボランティアについても各自が考えるきっかけになりました。

#### 成 果

- ①ガソリン代が年間約 20 万円削減できた。
- ②非常用電源として実際に使用する体験ができた。
- ③ SDGs に対する社員の意識の変化。

大きな目標としていた燃料費の削減については、弊社にとっては大きな成果が出たと感じています。また災害時の非常用電源としても利用できることを実感できたことから、社員からは「いざという時の安心感が増した」という意見もありました。社員が安心して働くことのできる環境を作り出したこともよかったですと感じます。そして何より、SDGs という横文字に二の足を踏んでいた社員にとって、自分も簡単に参加することができるのだということを知り、SDGs に大変興味を持ってもらうことができました。

#### 担当者の思い

SDGs の取組みを言葉で説明してもなかなか簡単に理解しきれていなかったようですが、実際に SDGs の取組みを実感・目の当たりにすることで興味を持ってくれたことは大変よかったですと感じています。燃料費の削減一つをとっても CO<sub>2</sub> 排出量削減につながり、電気自動車を通して災害発生時には電気供給ボランティアとして活躍できるなど、多岐にわたって SDGs に取り組めることを認識することができました。

〈代表取締役 加藤 和将〉

